

高強度 RC プレキャスト舗装版

施 工 概 要

空 港
港 湾
道 路

株式会社ガイアート T・K

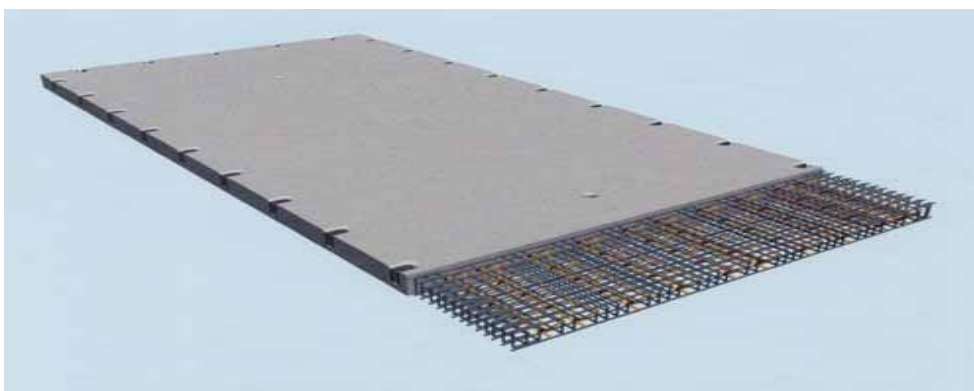
1. 高強度RCプレキャスト舗装版の概要

高強度RC^{プレキャスト}舗装版は、版の薄肉化・軽量化、継手剛性の向上による版同士の一体化を図るとともにPC舗装に対し、イニシャルコスト及びライフサイクルコストの低減を目的とした舗装版である。

< 高強度RC^{プレキャスト}舗装版の特徴 >

剛性の高い本体構造

* 60N/mm^2 の高強度コンクリートにラチストラス主鉄筋を配置し、版本体の耐力・変形性能を向上させ、PC舗装と同等以上の剛性・強度を有し、かつ版の薄肉化・軽量化が可能。



荷重伝達率の高い継手構造・・・コッター式継手

* H型金物の圧入により継手面に圧縮力が導入され、荷重伝達率の高い版どうしの平面一体化構造を実現

効率の高い施工性・維持補修

* 施工及び維持補修のための多機能治具を内蔵

* 製品吊上げ金具取付、リフトアップ用ジャッキ取付孔・グラウト注入孔を兼用する特殊治具を内蔵

* ボルト固定式のためコッターの引抜きが容易で、版の部分交換が可能



< 高強度 RC プレキャスト舗装版の適用範囲 >

数時間で施工が可能のため、供用しながら補修できることから以下のような場所への適用できます。また、不同沈下の起こりやすい軟弱地盤上の舗装ではリフトアップが可能のため、さらに効果的です。

一般的にプレキャスト版の大きさは、道路の場合 3.5m（車線幅に合わせる）× 2.5m × 0.2m（厚さ）、空港のエプロン部等では 14.0m ~ 15.0m × 2.5m × 0.24m（厚さ）が標準であるが、工場にて鋼製型枠を使用して製作するため、版の形状、版厚は現場条件、荷重条件に合わせて変更可能です。

空港施設

- * 誘導路
- * エプロン部

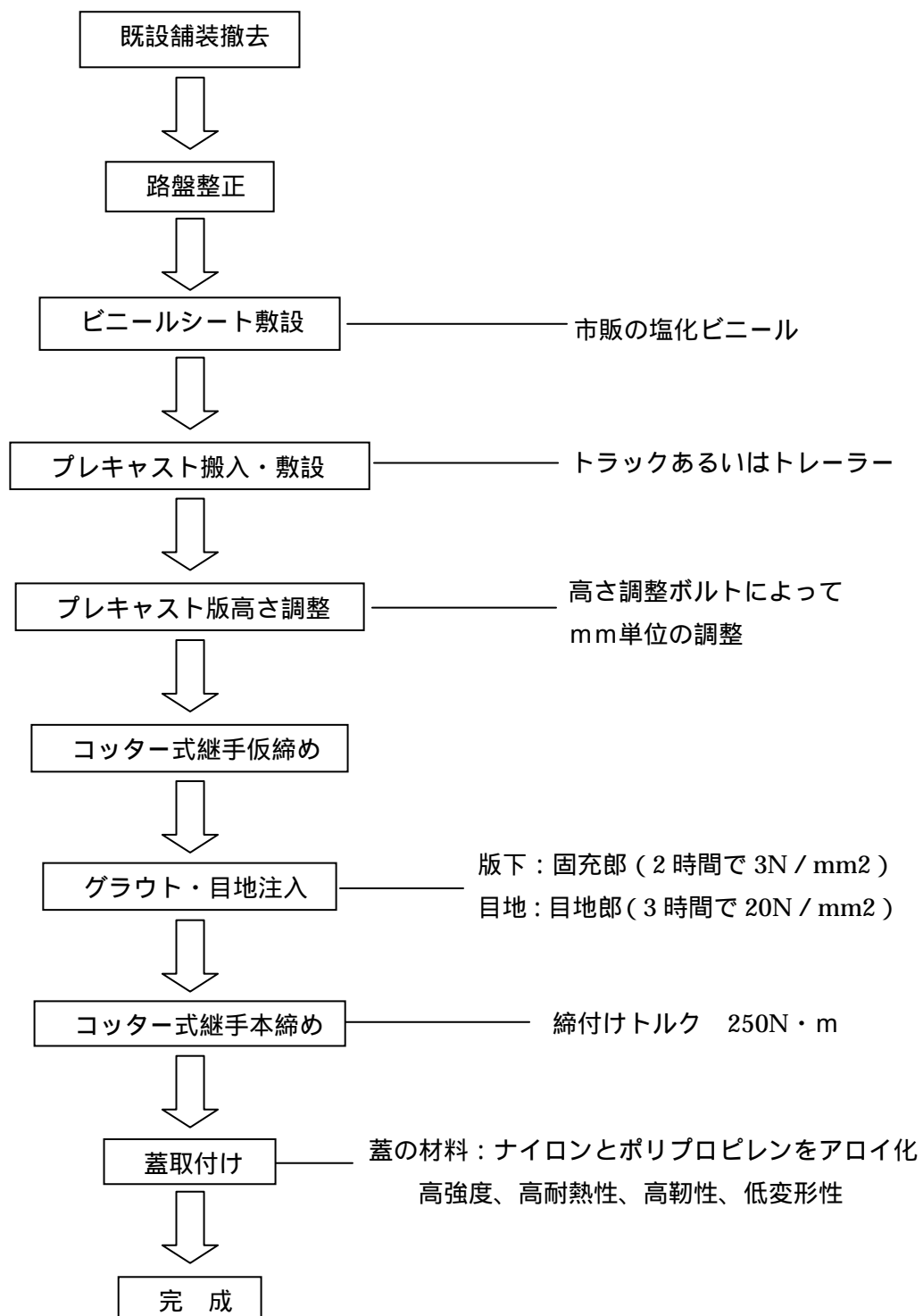
港湾施設

- * コンテナヤード
- * コンテナ埠頭のクレーン走行部

道路

- * 損傷の激しい重交通路線・主要交差点
- * 供用中のトンネル内の舗装
- * 高速道路の出入り口・料金所

2. 標準的な施工フロー



3. 施工写真



既設舗装撤去



ビニールフィルム敷設



R C プレキャスト舗装版設置状況



目地注入



コッター式継手本締付



蓋取付け

施 工 実 績

空 港

(福岡国際空港 誘導路：九州地方整備局)



港 湾

(小松島港 コンテナヤード：徳島県)



道 路

(東名自動車道：日本道路公団)



(一般国道49号：北陸地方整備局)



(一般国道1号：中部地方整備局)

